

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-526536 (P2004-526536A)

【公表日】平成 16 年 9 月 2 日 (2004.9.2)

【年通号数】公開・登録公報 2004-034

【出願番号】特願 2002-586835 (P2002-586835)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 C 7/20

【F I】

A 6 1 C 7/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 29 日 (2005.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

歯列矯正装置のアーチワイヤスロットからアーチワイヤを解放する方法であって、  
手持ち器具の少なくとも 1 つの脚を、前記アーチワイヤの歯に面する側に沿って配置すること、

前記歯列矯正装置のラッチに向う方向に前記アーチワイヤを付勢するように、前記手持ち器具を枢動操作すること、

前記ラッチを開いて前記アーチワイヤスロットから前記アーチワイヤを解放するのに十分な力で、該アーチワイヤを該ラッチに対して押し付けることと、

を含み、

前記手持ち器具を枢動操作することが、該手持ち器具が枢動する間に該手持ち器具の一部を前記歯列矯正装置に当接させることを含む、

方法。

【請求項 2】

ラッチを有する歯列矯正装置のアーチワイヤスロットからアーチワイヤを解放するための、歯列矯正用の手持ち器具であって、

細長いシャフトと、

前記シャフトに接続され、各々が前記アーチワイヤに係合するフック形状を有し、互いに間隔を空けて配置される 2 つの脚と、

前記 2 つの脚の間に配置され、前記アーチワイヤを前記歯列矯正装置の前記ラッチに対して押し付けるように前記シャフトが揺動する間に、該歯列矯正装置に接触するカム部分と、

を具備する歯列矯正用の手持ち器具。